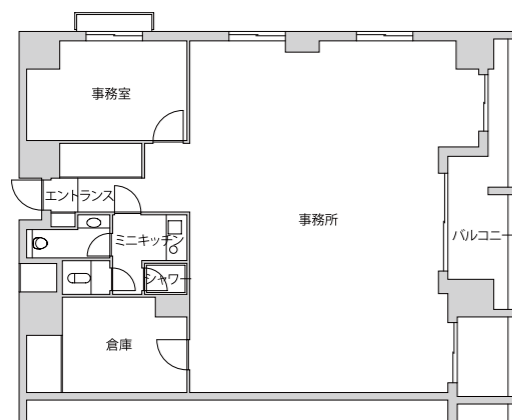
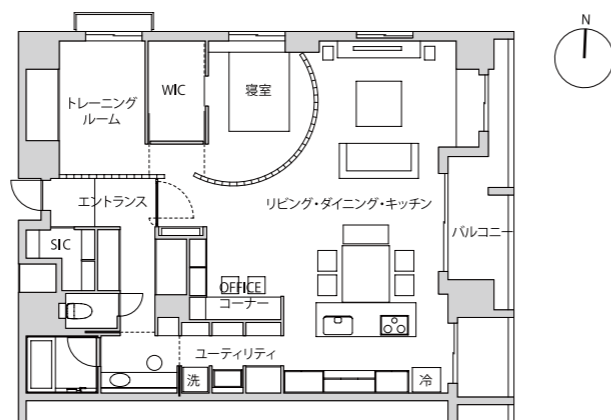


美しさと機能性を備えたワンルーム的空間



Before 平面



After 平面 縮尺1/200

■ OGA

所在地 京都府京都市中京区
 主要用途 専用住宅
 家族構成 夫婦十犬2匹
 設計 久和原忠/久和原建築事務所
 担当 久和原忠 高松衣里
 設備・電気 担当 高松衣里
 施工 ASJ京都スタジオ (平安建設株式会社)
 構造・構法・規模
 鉄筋コンクリート造
 集合住宅11階
 延床面積 102.11㎡
 竣工 2009年11月
 撮影 佐々山雅宏

もらっている。
 久和原さんは「クライアントに納得していただくためにかける時間は惜しみません。住んだ後の満足度を高めるには、空間に合うデザインも提案することが大切だと思っています」と言い、その方針に「ご夫妻は共感。奥様は「一緒に色々な場所へ行っていただき、嬉しく思いました。美しさを重視しながら機能性もちゃんと考えてもらえて、とても満足しています。打ち合わせではイメージを上手く伝えられなかったのですが、久和原さんが汲み取ってくれて、次に会う時には的確なプランを提示されるので驚きました」とのこと。ご主人も「限られた予算の中で、期待以上の提案をしていただきました」と嬉しそうに話す。
 ご主人はワークスペースに飾る絵の掛け方を久和原さんに相談中。Oさんの住まいを豊かにする空間がまた一つ増えそうだ。
 (取材/福島恵美)

京都市の中心部、四条エリアに建つ築九年の瀟洒なマンション。この最上階の部屋を購入して全面リフォームしたOさんは、当初から建築家と住まい作りをすることを選択肢の一つに入れており、チラシで知ったASJの「建築家展」へ。そこで出会ったのが建築家の久和原忠さんだった。
 Oさんご夫婦の主な希望は、「ワンルーム的に二人でのびのびと使いたい」「ベトナムにあるフランス資本のホテルのような、アジアとヨーロッパが融合したイメージに」というもの。久和原さんはその言葉を手がかりにしてプランニング。壁で仕切らずにゆったりと広い空間のLDKを作り、床にはローズウッドの無垢材を敷き詰めた。ローズウッドは木目に装飾性があり美しく、木肌が滑らかで二匹のワンちゃんが走り回っても滑りにくい。
 ご主人は「ガラスブロック壁を曲線に入れてほしい」ということも依頼。そこで、曲線を描くアールのガラスブロック壁で寝室を仕切った。ガラスブロックは照明や窓から差し込む光を受けて揺らぎ、明るさと開放感を与えているように見える。
 お料理好きの奥様が切り盛りするオープンキッチンは、黒が冴えるスタイリッシュな装い。室内ドアとダイニングのペンダントライトはステンダグラスの手作り品。ダイニングテーブルとイスは、ブラックウォールナットでできたオーダー家具だ。これらを取り入れる際も、久和原さんはご夫妻を工房やショップに案内し、ステンダグラスは現物のチップ数種類から選んで